

メディカル企業紹介

大衛株式会社 津工場

大阪市に本社がある大衛(株)は、戦後まもなく衛生材料を製造してきた会社です。津市の南部、高茶屋に自社工場である津工場があります。津工場は衛生材料を生産していた海軍工廠の跡地に建つ工場で、その後を引き継いだ仕入先の工場を買って自社工場となりました。津工場の一室で、大衛(株)の皆さんに同社の製品や取り組みについてお話を伺いました。



■(左から)企画開発本部・社氏、田中取締役、山本工場長

●産婦人科の50%で使われる「アメジスト」ブランド

大衛(株)の商品構成は、オサンセットなど産科用品が1/3、衛生材料が1/3、手術関係のディスプレイ製品が1/3の構成です。50周年を迎える「アメジスト」ブランドが社名以上に有名で、産婦人科の50%近くに納入実績があるため、病院では特によく知られています。オサンパットは同社が日本で初めて開発した商品で、このオサンパットをはじめ出産前後に使用する衛生材料等のお産用品を病院ごとに使いやすい構成でパッケージ化したオサンセットは画期的な商品です。最近では「アメジストマタニティ」のブランドを推し進め、妊婦さんに安心していただける分娩室の環境をつくるピンクシリーズ、出産後の骨盤ケアなどを提案しています。手術・病院関係では、感染対策商品、ガーゼの体内遺残を防止する10カウントガーゼなどがあります。ISO13485への対応、高圧蒸気滅菌を導入するなど、品質・環境・安全にはとくに留意しています。



■パッケージ作業

メディカルバレープロジェクトをきっかけに、遺体処理剤と自社の衛生材料を組み合わせたエンゼルセット(同社が命名した死後処置セット)、温熱・冷却パットを扱うなど、積極的に県内企業との連携を活用されています。また企画開発では学術部を創設し、三重大学などとも産学での意見交換をはかっていきたいと考えています。「機会があれば積極的に協力したいので、情報は大きいをお願いしたい」と心強いお言葉をいただきました。

●地元の高校生に来てほしい

津工場では、正社員56人、パート50人合わせて100人以上が働いています。昨年は新卒社員7人、中途社員3人を採用しました。景気の影響を受けにくい仕事です。地元の人に来てほしいと考え、高校生はなるべく地元から採用しています。病院ではよく知られている会社ですが、一般にはあまり知られていないため、応募につながりにくいようです。「地元の優良企業として知ってもらいたい」と残念そうにおっしゃっていました。お話の後、工場を見学させていただきましたが、セットごとに商品の構成が異なる上に、手術用品では穴の位置を手術に合わせて開けられている、きめ細かな対応が印象に残りました。

会社概要

代表者	加藤光司(代表取締役社長)
事業内容	医療・衛生材料の製造及び販売、関連商品の輸出入業
創業年	昭和26年(1951年)5月
資本金	5,196万円
本社所在地	〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-3-3
事業所所在地	〒514-0816 津市高茶屋小森上野町52 (津工場)
TEL:	059-234-2529 FAX: 059-234-2549
URL:	http://www.amethyst.co.jp/



■津工場

株式会社医用工学研究所

(株)医用工学研究所は、医療機関向けにデータウェアハウス・システムを提供する三重大学発ベンチャー企業です。同社が入居している三重大学キャンパスインキュベータに北岡義国社長を訪ねました。



■北岡義国社長

●三重大学生まれの診療情報活用システム「CLISTA!」

近年、医療機関では電子化が進み、オーダーエントリーシステム、電子カルテ、医療画像、検査結果など様々なデータが蓄積されています。しかし、システムごとにデータは分散し、形式が異なり、その二次活用には大変な時間と手間がかかっています。これら診療データを統合・集約し、「見える化」「数値化」することで、病院運営や経営、診療や研究などに役立てるためのシステムが(株)医用工学研究所の「CLISTA!」です。「CLISTA!」は、システムに依存せず様々なデータの統合が可能、操作が簡単、更新が自動、セキュリティ性が高いなどの特徴があります。

このシステムは様々な意味で三重大学生まれです。北岡社長は三重大学工学部を卒業後、いったん地元石川の企業に就職したものの、再び、三重大学医学部附属病院の医療情報学教室の大学院生となりました。大学院生時代、産学連携の仕組みを活かした研究開発型のベンチャー企業を作りたいと、現在工学部助教授の川中普晴さんと(株)医用工学研究所を設立しました。その後、病院の現場において統計資料の作成業務に困っているという話を聞いていたことが、「CLISTA!」の開発につながりました。「CLISTA!」は、およそ2年半の開発期間を経て2007年の夏頃に現在の形がほぼ完成、今では三重大学など6病院、OEM形式では約20病院に導入されています。開発にあたっては三重大学病院をフィールドとした研究開発がベースとなり、三重大学病院での使用事例が、他の病院への提案に役立っています。本社を大学内に置いていることも対外信用面での効果につながったそうです。



■診療情報活用システム「CLISTA!」、
「CLISTA!SEARCH」

●医療用データウェアハウスのデファクトスタンダードを目指して

北岡社長は、同社の製品「CLISTA!」で医療用データウェアハウス(病院内での診療データ、医事会計情報などを活用し、病院経営や研究、診療などのための二次利用を行うための仕組み)でデファクトスタンダードを目指しておられるそうです。全国の病院に「CLISTA!」が普及することをめざし、その地域の特性を踏まえた上で、その病院の医療と、その病院を必要とする地域の患者さんたちのために、「自分たちができることはほんの少しのことかもしれないけど、後方からサポートしていきたい」と考えておられます。

会社概要

代表者	北岡義国(代表取締役社長)
事業内容	医療用データウェアハウス(病院の経営支援、診療支援、研究支援、業務効率の改善)の立案・構築・導入、およびそれに伴うコンサルティングなど。
創業年	平成16年(2004年)
資本金	1,000万円
本社所在地	〒514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学キャンパスインキュベータ2階
TEL:	059-231-5489 FAX: 059-236-5312
URL:	http://www.meiz.co.jp/